



たかまつ

発行日 令和8年2月13日
学校だより R7年度/2月別冊
いのちのコンサートアンケート特集
豊島区立高松小学校
校長 坂本 貴史

先般（令和8年1月24日 土曜公開）開催いたしました「令和7年度道徳授業地区公開講座 いのちのコンサート vol. 3～いのちの理由」保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。

ご回答いただいた保護者の皆様からの温かいご感想やご意見について、紙面にて共有いたたく、一部ではございますが公開いたします。

賜りました貴重なご感想は、私たち教職員にとりましても、大変心強く、今後の大きな励みとなっております。
ぜひ、それぞれのご家庭におかれましても、今一度「いのち」について向き合う時間となりますと幸いです。

副校長 加藤英城



令和5年度より、3年間にわたって、地域にお住まいでの本校にも所縁のある音楽家・ピアニスト 緑川るみ 様を講師としてお招きし、音楽や歌を通して子供たちの「ただ一つの命」に向き合う時間を作っていました。

令和5年度「いのちのコンサート～いのちのうた」

令和6年度「いのちとみらいのコンサート～きみとわたしのうた」

令和7年度「いのちのコンサート vol.3～いのちの理由」

緑川先生には33年前に本校にて、最初のミニコンサートを開いていただき、以来、数年間にわたり、隔年で、高松の子供たちに音楽や合唱の楽しさを教えていただきました。令和元年度の本校創立70周年記念のイベントとして、児童へのコンサート

と式典でのアトラクションにお力をいただき、令和5年度より道徳授業地区公開講座として「いのちのコンサート」を繰り広げていただきました。

今年度は「いのちのコンサート」3部作の「完結編」と銘打ち、子供たちに「自分の命」や「友達の命」「家族の命」「あらゆる命」の「存在」を慈しむ機会にしたいと考えました。

1～3年生の児童には、事前に「ずっとずっとだいすきだよ」（ハンス・ウィルヘルム作・絵）の絵本の読み聞かせにより、主人公の「ぼく」と愛犬「エルフィー」の心の交流に触れました。

4～6年生は、自分の命の「理由」を考えるきっかけとし、「なぜ、何のために生まれてきたの？」と問い合わせました。大人でも答えることはなかなか難しい問いです。子供たちの率直な答えをベースに、自分や友達の命の存在を「身近に感じる時間」を過ごしました。



○最も多いのは、「家族のために」、「友人のために」、「まだ見ぬ誰かのために」…そこには「他者と繋がり、自分の存在が誰かの喜びになっている」という実感でした。○また、「他者」と同じくらい、「自分自身」「自己の内面」に迫る価値もありました。自分自身の幸せや自分の成長の実感、人生の目標に向かうものでした。○日々の喜びや楽しみも、自分が自分らしく生きる意味になっています。

○自分の人生を超えて、「遙か未来に思いを馳せて」、命をつなぐ営みをとらえた視点もありました。

○自分の命の始まり、「親」に、その理由を見出す答えもありました。当然のことながら、親御さんが望まなければ、子供たちの「生」は存在しません。望まれて、この世に生を受けた、自分以外の存在を強く実感できる答えです。

○もちろん、手探りの答えもあります。「わからない」という答え、これも正直な答えです。答えがないのではありません。これから答えを見つけていく「余白」です。

○このたくさんの答えのモザイクが、子供たち、保護者の皆さん、そして教職員の「いのちの理由」に他ならないと考えています。

以下に、保護者の皆様から頂戴しました貴重なご感想と、一部ご質問をお預かりしていますので、現段階での回答をさせていただきます。

「いのちのコンサート vol. 3」アンケートから、質問と回答

質問	回答
3部作や集大成との話がありましたが、来年度以降は実施しない予定なのでしょうか。	→令和5年度の道徳授業地区公開講座から3年にわたり「いのち」にスポットを当てて講座を企画しました。今後も同講座は継続の予定ですが、取り上げる内容やアプローチについては、継続発展も含め、検討してまいります。また、多くの方からも「来年も参観したい」「このような機会があればぜひ参加したい」「形は変えてもコンセプトは継続して、何かしら開催いただけ幸いです」「普段はなかなか親子でじっくりと命について話し合う機会が少ない中で、このような時間は貴重だと思いました。今後もぜひ、このようなコンサートを続けていただけたらと思います。」といった前向きなご意見も頂戴しています。
いのちのコンサートでは親が鑑賞のメインと感じるような席の配置だったのには何か理由があったのでしょうか？	→今回のテーマは、すばり「自分の命」でした。その命の源は、ご参観いただいている保護者の皆様の存在あってのことです。そのため、保護者の方への感謝と、親子で「命に向き合う」機会としたいと考え、会場の中心に保護者の皆様の座席を設け、周囲に子供たちが保護者の皆様の方を向いて着席する配置としました。

★その他、心温まる感想の数々を賜りました。掲載いたします。

こども達のいのちに対する率直な意見を知ることができ有意義でした。コンサートや手話を含め、児童の合唱も大変素晴らしいかったです。ありがとうございました。

とても考えさせられるテーマでした。

3.11のことは、何度か子供に話していましたが、その先にある、命の大切さや今後の生き方について考えるということまではしていなかったので、とても勉強になりました。

普段の生活では忘れがちな命の大切さ、生きている意味を考える機会になりました。子供たちの歌と手話を感動しました。

とても良いコンサートでした。ありがとうございました。

いのちについて自分は何も考えていないかったが、児童は深い考えを持っていたことに驚いた。いのちの大切さを考え直す良い機会となつた。

『命』という言葉では少し難しいテーマも、音楽を通して聴くことで、子供の心にも真っ直ぐに届いたように思います。

またこのコンサートが心の教育のきっかけになったとも感じています。

またこのような機会があればぜひ参加したいです。

「いのち」という重みのある言葉は普段の生活では真正面から向き合うことがあまりありません。重い病やケガだけでなく、震災等にあった知人や友人がたまたま周りにいない。自分の日常がいかに幸せなことかと日々に思いをめぐらせました。今回2回目のいのちのコンサートでした。子どもたちの歌声と手話、先生のピアノ演奏に元気をもらいました。子どもが自分のいのちも周りの人のいのちも大事にして育ってほしい、親が伝えられできることは何か考えていきたいと思います。素敵な機会を作ってくださいありがとうございました。

素敵な時間でした。先日、子供が「お母さんのおなかから産まれたんでしょう？お母さんってすごいね！」と突然言うので驚きました。と、同時にすごく感動しました。そんなやり取りを思い出しながら子供たちの歌を聴いていました。目頭が熱くなりました。子供は命の塊、パワーがあります。そう思いました。

コンサートに感銘を受けました。

本日は道徳授業公開講座を開催していただきありがとうございました。

緑川先生、先生方のお話、生徒達の命の理由をプロジェクターで映し出された時、胸がとても熱くなりました。命とは、命の理由、家族でも夕食時に改めて会話をしでみたいと思います。

本日は誠にありがとうございました。

授業といのちのコンサートが一貫性のある内容で、保護者にとってもいろいろと考えるきっかけとなる良い機会でした。コンサートは児童のハーモニーがとても美しく、普段の授業もお忙しい中で、こうした機会を設けて頂き、学校や関係者の皆様に感謝しております。

いのちのコンサートは3年続けて鑑賞させて頂きました、毎年息子たちのこれから、家族のことをなど、色々と考えるきっかけとなり、有難い機会と思っています。子どもたちの、いのちの理由は心に響きました。私自身も命の尊さ、生まれてきた意味について考えるとても貴重な機会となりました。形は変えてもコンセプトは継続して、何かしら開催頂けると幸いです。

4年生の手話と子供達の歌声がスクリーンに映し出された歌詞に涙がとまりませんでした。

日頃仕事に追われ生活していく中で子供達の気持ちが伝わり、響いて明日も頑張って行こうと思います。

貴重な経験をさせて頂き有難うございました。

忙しい日々に追われ、なかなか命の大切さまで子供と一緒に考える機会がありませんでしたが、帰宅後、家でもどういう意味だったのか、(お盆や甥、姪など少し難しい言葉が出てきたので)話すことができ、久しぶりにゆっくりと子供と向き合いました。温かい授業をありがとうございました。

日々の暮らしの中で、心身の健康や家族の存在は当たり前すぎてつい有り難みを忘れがちです。豊かな毎日を送っているのは家族含め、周囲の方々のおかげであることを再認識する機会となりました。またいのちの理由のスライドでは、子どものストレートな思いがあふれており深く感動しました。

子ども大人どちらが偉いわけではなく、感謝の気持ちや思いやりをベースに関わっていきたいと改めて強く感じました。音楽を通した一体感も素晴らしかったです。心温まる機会に感謝いたします。

学級では、全員が自分の考えを伝え合い、自分と違う意見も優しく聞いていて、すてきなクラスだと感じました。先生が、どの考えも間違いで無いんだよと言ってください、子供たちも嬉しそうでした。素敵な時間をありがとうございました。いのちのコンサートは、スライドのうまれた理由を見て、涙が出そうになりました。三年前、主人が癌で手術をした直後に1年目のいのちのコンサートを参観し、家族で命について考え続ける良い機会にもなっています。四年生の手話も、子供たちの歌も素敵でした。ありがとうございました。

先日は、道徳授業ならびに道徳授業地区公開講座を開催していただき、ありがとうございました。さだまさしさんの「いのちの理由」という曲を、子供たちがみんなで歌っている姿、そして子供たち一人一人が考える「いのちの理由」がとても印象に残りました。子供たちは言葉には出さなくても、さまざまなことを考えながら日々成長しているのだと、改めて実感しました。

小学1年生の息子も、いつの間にか家でこの歌を口ずさむようになり、歌詞の意味を本当に理解しているのだろうかと思いながら聴いていました。しかし今回の講座を通して、今はすぐに意味が分からなくても、成長していく中で、いつか自分なりに歌詞の意味や「いのちの理由」を見つけていってほしいと感じました。

歌に触れながら命について考えることができ、また、普段なかなか親子でじっくりと命について話し合う機会が少ない中で、このような時間はとても貴重だと思いました。今後もぜひ、このようなコンサートを続けていただけたらと思います。

いのちのコンサートから参加しました。

とても感動して涙が出ました。

歌も良かったですが、『どうして生まれてきたのか』というテーマに対しての子どもたちの回答がそれぞれで面白く、スライドの編集やピアノ伴奏も感動を誘い、涙しました。緑川さんや用意してくださった先生方、ありがとうございました。12年前に生まれててくれたことの感謝をいつも忘れずにいたいと思いました。また、せっかくなので子どもたちの回答を、来られなかった保護者の方にも見ていただけたら良いなと思いました。

学校だより別冊（本号）に付随して、当日のプレゼンテーション資料を公開しました。どうぞご覧ください。

いのちのコンサートは、音楽を通して命について考える機会を親子共々いただきました。ありがとうございます。

歌詞が自然と心に入ってきました。

子供もそうですが親の我々も命について考えるいい機会でした。
ありがとうございます。

いのちのコンサートは会場全体が温かい雰囲気に包まれ、とても幸せな時間を過ごさせていただきました。

ありがとうございます。

家庭ではなかなか教えきれないような深い内容でした。特に4年生は手話も覚え、いい経験になったと思います。このような機会をありがとうございました。

道徳の授業で、子供達が積極的に参加している姿をみることができました。

明るい雰囲気のなか、色々な意見がでて、引き続き考える力を養っていってほしいと思います。いのちのコンサートも含めて、貴重な時間をありがとうございました。

コンサートで4年生が手話を用いて歌を歌ったことが、とても心に残りました。

自宅でも毎日練習をしていたので、今回のテーマとその取り組みに対して、コンサート全体的にまとまりのある、また意味を持った会になったと思います。

250名近い保護者の皆様、地域の皆様と一緒に、いまある子供たちの「命」に向き合う濃密な時間となりました。貴重なご意見をありがとうございました。（教職員一同）